

社会構築論系 共生社会論プログラム 現代共生理論ゼミ Can We Live Together? (定員 1 学年 15名)

講義要項内容： (1) Can We Live Together? を基本テーマにして、社会学を中心に経済学、政治学、サイバネティックス、統計学の知識と方法を習得しつつ、知的な討論を繰り返して、メンバー各位の固有の意見、理論をまとめていく。コンピュータを十分に使いこなすとともに、フィールド・ワークにも積極的に取り組んでいく。(2) その前半40分はreadingsとし新旧重要文献を読む。後半60分はresearch methodとfield workのための時間とする。毎回90分では絶対に終わらない。疲れたら、みんなでビールを飲みに行く。(3) 3年度生の目標は、2年生までに学んだ知識とスキルを確認しつつ、基本テーマについて各自の研究成果をまとめていくこと、4年度生の目標は、1年間行ってきた研究成果を英語でプレゼンテーションをして、議論をすることにおき、最終成果としてゼミ論文を仕上げることをする。

実験実習費等費用について： 年間3回ほど合宿を予定している。合宿ならびにコンパは個人負担。合宿については、大学セミナーハウスを利用し、JR団体割引料金を利用するので、概ね2泊3日1回18,000円前後となる。

SS :			
月	日	課題 1 心臓を鍛える	課題 2 経済とは何か？
4	12	「日本」とナショナリズムについて理論・思想的、および経験的研究 —Tessa Morris-Suzukiを精密に読む	テーマ「リーマンショックとEU危機から経済・政治・社会・文化を理解する」
		Chapter 4	春学期テーマ説明と予定について
	19	Chapter 4	リーマンショックとは何か？ グループ報告
	26	Chapter 4	EU危機とは何か？ グループ報告
5	10	Chapter 4	ケインズ『雇用・利子・貨幣の一般理論』を読む グループ報告
	17	Chapter 4	ハイエク『価格と生産』を読む グループ報告
	24	Chapter 4	フリードマン『選択の自由』を読む
	31	Chapter 4	サブプライムローンをどう理解するか？ グループ報告
6	7	Chapter 4	ハイエク『貨幣発行自由化論』をどう読むか？ グループ報告
	14	Chapter 4	合宿の準備
	21	Chapter 4	合宿の準備
合宿(6/23-25) 夏合宿(2泊3日) 軽井沢セミナーハウス			
25-27		課題 1 経済政策は、こうあるべきである？	45分×4
		精読レポートと、議論	
		課題 2 日本経済は、このようになるであろう。	45分×4
		精読レポートと、議論	
		課題3 ゼミ論文について進捗状況報告	40分×8
		・これから行っていく各自の課題について報告	
		課題 4 映画鑑賞会	120
		・各自の批評を文章化する。	
	28	Chapter 4	プロシーディング編集についての議論
7	5	プロシーディングスの制作	
	12	プロシーディングスの制作	
	19	プロシーディングスの制作	
	26	プロシーディングスの完成	
8	6	批評会	
9		ゼミについては忘れ、自分たちのことをする。	

WS

		課題A 現代日本を考える	課題B 心臓を鍛える
		「グローバリゼーションとグローバリズム - 新日本的経営は可能か？」	「日本」とナショナリズムについて理論・思想的、および経験的研究 —Tessa Morris-Suzukiを精密に読む。
10	4	テーマ「グローバリゼーションとグローバリズム - 新日本的経営は可能か？」について	Chapter 4
	11	石原慎太郎・盛田昭夫『NOと言える日本』光文社を読む	Chapter 4
	18	私の履歴書「井深大」「大賀典夫」「江崎玲於奈」を読む 日経記事10月1日～を読む	Chapter 5
	26	日本経済新聞社編『ソニーとSONY』を読む	Chapter 5
11	1	原田節雄『ソニー 失われた20年』を読む	Chapter 5
	8	フリーディスカッション「ソニー」という現象	Chapter 5
	15	J.ヒックス『価値と資本』第4部を読んできてわかること	Chapter 5
	22	F.v.ハイエク『純粋資本論』を読んで、「資本」とは何かを語る	Chapter 5
12	6	「日本的経営」とは何だったか？（1）『日本経営史4 日本の経営の連続と断絶』岩波書店から	Chapter 5
	13	「日本的経営」とは何だったか？（2）『日本経営史5 高度成長を超えて』岩波書店から	Chapter 5
	20	合宿報告予告編（1） 課題1について	Chapter 5
合宿（12/15-17）冬合宿（2泊3日） 鴨川セミナーハウス			
		課題1 企業のグローバル化とグローバリズム SONYを事例に	60分×4
		・グループごとのテーマ報告	
		課題2 新日本的経営は、どのように可能か？（討議）	90分×1
		・グループごとのテーマ報告	
		課題3 私たちはどのように生きていくか？（討議）	90分×1
		・総括討議	
		課題4 3年生「ゼミ論文」構想発表会 4年生「ゼミ論文」お疲れ様会	180分
		・各自の構想について報告をする。	
		課題5 映画	140分
		・各自の批評を文章化する。	
1	10	新年会	
	17	プロシーディングスの制作	
	24	プロシーディングスの制作	
	31	プロシーディングスの制作	
2	7	批評会	
3		ゼミについては忘れ、自分たちのことをする。	